

と位置づけ、COP10開催を盛り上げる事業の開催や、生物多様性保全おかやま戦略の策定、身近な生きものの里プロジェクトの拡大・強化なども図っていきたい。

**企業・コンベンション
新たな誘致を期待**

問 新たな企業やコンベンションを誘致する取り組みが必要だが現状は。また、誘致戦略は。

答 政令市移行に前後し、家電量販店やホテルの進出が見られ、大規模なコンベンションの開催も増加している。

企業誘致については、企業立地戦略本部の設置や、岡山市経済産業懇談会の開催などを行っている。コンベンションの誘致については、岡山らしいアフターコンベンションの提案や、首都圏や地元キーパーソンへの個別セールスに取り組んでいる。



首都圏で行われているコンベンション誘致活動

**区づくり推進事業で
区民参加のまちづくり**

問 区づくり推進事業で地域活動の中心となる団体、活動内容は。また、団体への助成制度の考え方は。

答 地域活動部門の活動主体は、安全・安心ネットワーク等の地域団体やボランティア・NPOなどの市民活動団体を想定している。活動内容は、防犯、防災、環境美化、地域福祉、健康づくりなどの分野を考えている。

助成は、補助率2分の1、補助限度額200万円とし、支援することで、地域をよくしていく力が高まるよう周知を図りたい。

ゆうあいクラブ

**ウォーターステーション
利用促進策と設置計画**

問 ウォーターステーションの水を飲みたいくなる工夫と今後の設置計画は。

答 平成21年8月、JR岡山駅東口に設置したウォーターステーションは、岡山の水はおいしいというイメージづくりに役立っていると考えており、広報紙やホームページなどを活用し、さらに多くの人に利用してもらえるよう周知を図る。



岡山駅東口の
ウォーターステーション

今後の設置計画としては、現在整備が進められているJR岡山駅西口広場にも一つ設置す

ることとしており、その費用は約420万円かかる。

**西部リサイクルプラザ整備計画
問 西部リサイクルプラザの整備計画は。また、稼働による最終処分場の延命はどの程度か。**

答 西部リサイクルプラザには、粗大ごみ、不燃ごみ及び資源化物の処理施設を整備する。また、不要品の修理再生室や再生品の展示・販売を行うリユースコーナーを備え、市民相互の情報交換・交流の場として活用できる啓発施設を併せて整備する計画で、平成26年度中の稼働を目指している。

なお、西部リサイクルプラザの稼働により、年間約5,300トンが資源化及び焼却処理されるため、最終処分場は、おおむね4年間の延命化が図られると考えている。

環境に配慮した農業施策

問 農業施策を進めるには環境問題が重要だが、現在までの取

り組みと今後の方針は。

答 平成18年度から20年度に遊休農地を菜の花栽培に活用することで農地の大切さを呼び掛けるとともに、菜種油にして公民館活動等で利用し、その廃油をバイオディーゼル燃料として利用する菜の花プロジェクトを実施した。

21年度からは、人と環境に優しい安全安心な農産物の生産を増やすため、化学肥料や化学農薬を減らした農業生産に取り組むエコファーマーを支援する事業を進めており、農業都市にふさわしい総合循環農業の確立を目指したい。

岡山駅東西広場

緑のボリュームアップを実施

問 岡山駅の東西広場を緑化することが市内の樹木を増やす、「緑のボリュームアップ」に効果があると思うがどうか。

答 岡山駅は岡山市の玄関口であり、庭園都市・岡山をアピールする重要な場所だと認識している。東口広場には、平成21年度中に緑化フェア会場にあった